

# 第 212 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 5 年 2 月 22 日（水） 13：30～14：30

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 杉野本委員 花田委員 岡山委員 倉本委員

事務局 森脇部長 草刈課長 山口課長 鳥居室長 田中課長

書記：日ノ原係長 川村主任主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった邊担当部長、猪木迫担当部長、松山担当課長、木屋担当課長、永田担当課長、濱見室長、岩崎分室長、細川分室長、上原分室長、石原分室長は、欠席。

## 議事

### 1 教育長報告

### 2 議題

- (1) 学校給食費の改定について（資料 1）
- (2) 浜田市スポーツ推進審議会委員の選任について（資料 2）
- (3) 卒業式におけるマスクの取扱い等について（資料 3）

### 3 部長・課長等報告事項

### 4 その他

- (1) その他

### 1 教育長報告

岡田教育長

皆様、こんにちは。

今週の金曜日から、いよいよ浜田市議会 3 月定例会がスタートし、3 月 17 日までの予定で開会される。

初日に教育方針を述べさせていただきたいと思っている。

また、当初予算にも教育委員会から新たな取組であるとか、拡充する取組の関係予算を上程している。これについては、後ほど担当課長から報告事項の中で触れさせてもらいたいと思う。

それからコロナの感染症法上の取扱いが、5 月 8 日から 5 類に引下げられることが決まり、特にマスクの着用の取扱いが変わっていくということで、学校の方でも混乱が起きないかなということをご心配している。

卒業式の取扱いについては、教育委員会としてもきちんと指示

を出した方がいいのではないかと考えているため、後ほど委員方のご意見も伺いたいと考えている。

それでは、お手元の資料に基づいて報告させていただきたいと思う。

① 1月27日（金）学校管理職人事評価面接（テレビ会議）

② 1月30日（月）学校管理職人事評価面接（テレビ会議）

③ 2月2日（木）学校管理職人事評価面接（テレビ会議）

④ 2月9日（木）学校管理職人事評価面接（テレビ会議）

1月27日から学校管理職の人事評価と面接を始めている。資料にあるように、1月30日、2月2日、9日の4日間で開催をしている。テレビ会議で開催するということが少し定着してきたように思っている。

⑤ 1月29日（日）人権尊重のまちづくり推進大会（三隅中央会館）

1月29日に人権尊重のまちづくり推進大会に出席をしている。タレントのスマイリーキクチさんがネット上で身に覚えのない事件の犯人にされ、誹謗中傷を受けて苦しまれた実体験について語られた。

⑥ 2月2日（木）市長表敬（一中：スキー、ソフトテニス、金城中：スキー全国大会出場）

2月2日に市長表敬を受けている。スキーの全国大会に出場する第一中学校と金城中学校の生徒が2名、それからソフトテニスの全国大会に出場する第一中学校の生徒が7名、表敬訪問をされている。

⑦ 2月5日（日）HAMADA 教育魅力化フェスティバル2023（いわみーる体育館）

2月5日にはHAMADA 教育魅力化フェスティバル2023を開催している。ここには市内の県立高校と特別支援学校が校種を活かした展示、あるいは体験ブースを設置され、市民と高校生が気楽に交流できるトークイベント等も企画をしている。

高校生と地域が繋がる本当に良い機会になったと考えている。

⑧ 2月6日（月）味覚の教室（波佐小学校）

2月6日に、味覚の1週間という授業を実施されている団体の方々の協力をいただき、波佐小学校にイタリアンレストランのシェフをお招きして、5つの味覚の気づきと食事の大切さを

自覚してもらおう授業が行われ、私も見に行ってきた。食育の学習という点では、非常に良かった授業であったと思っている。

⑨ 2月6日（月）市長表敬（浜田高校自然科学部：花王賞受賞と国際大会出場報告）

また、同日の市長表敬であるが、高校生あるいは高専生による科学技術のチャレンジという全国大会がある。

ここに出品された浜田高校の自然科学部3名の共同研究が、特別協賛者である花王賞を受賞され、5月にアメリカで開催が予定されている国際大会に出場することが決まった。

市長表敬を受けたわけだが、受賞の研究が「植物乳液の防虫効果と利用法」ということで、今、英語でのスピーチに向けて準備をされているということであった。

⑩ 2月11日（祝・土）協働のまちづくりフォーラム（いわみーる体育館）

2月11日に、協働のまちづくりフォーラムを開催している。

これには、原井小学校と弥栄中学校で取り組まれているふるさと郷育の一端を児童生徒が堂々と発表され、来場者にはふるさとを愛する児童生徒の思いが伝わったのではないかなと感じている。

また、岡山委員が共同代表を務めておられる、若者の有志によるまちづくりの中間支援組織である「はまだ協働学舎ファンタス」の設立経緯であるとか、今後の活動方針の報告等もあった。

このように、2月は協働のまちづくりフォーラム、あるいは教育魅力化フェスティバル等、小中高校の活動発表の場が多かったと思っている。

実際に参加することで私も元気をもらい、委員方にもいろいろなイベントに参加をしていただけたことに感謝を申し上げたいと思う。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

各委員

特になし。

## 2 議題

### (1) 学校給食費の改定について（資料1）

草刈課長

資料1をご覧ください、学校給食費の改定についてである。

12月の定例会で、給食審議会の答申について報告をさせていただいているが、改定の内容としては答申と同様の9%アップとなっている。

(1) 1食当たりの学校給食費のところをご覧いただき、小学校で25円、中学校で28円のアップとなっている。

参考として、1月当たりの試算額であるが、小学校で500円、中学校で560円のアップとなる。

資料の2番として挙げている運営委員会等で、この9%の25円、28円のアップについて、意見も伺っているところであるが、全てのところで特に主立った意見等もなく、了解をいただいているところである。

裏面の3番をご覧いただき、学校給食費激変緩和対策事業(案)ということで、今回9%のアップということになるため、引上げ額が大きくなるということで、2分の1程度の金額を激変緩和として助成をするということ、3月議会に提案しているところである。

補助対象期間としては、令和5年度である。1食あたり小学校で12円、中学校で14円となる。

スキームとしては、前回給食費を改定している令和2年度の激変緩和対策と同じスキームということで、学校給食会及び各学校給食センター運営委員会に補助金を出すというかたちで、保護者の方には補助金を考慮した後、2分の1程度の引上げ額部分の給食費を納めていただく流れになっている。

したがって、1食あたり小学校で13円、中学校で14円というようなかたちになる。

こちらについては3月議会に提案する予定であり、併せて報告をさせていただく。今回、この学校給食費の改定について委員方から承認をいただきたいということで、議題として説明させていただいた。よろしく願います。

岡田教育長

ただいま説明があった学校給食費の改定について、ご質問等あれば願います。

既に審議会の答申をいただいた時に、委員方にはお示しをしているが、今回は新たに3月議会の定例会で上程予定の、上昇額の2分の1相当の激変緩和ということが説明として付加されている。

ご質問等は特によろしいか。

各委員

特になし。

岡田教育長

それでは学校給食費の改定について、ここにあるとおり、教育

各委員  
岡田教育長

委員会として承認をいただけるということによろしいか。

全会一致で承認

ありがとうございます。

では、学校給食費の改定について、こちらの案のとおりにさせていただきますということでした。

(2) 浜田市スポーツ推進審議会委員の選任について (資料 2)

田中課長

浜田市スポーツ推進審議会の委員の選任について、資料 2 をご覧いただき、これは浜田市スポーツ推進審議会条例に基づくものである。スポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議するための審議会である。

任期は 2 年間、委員は 10 名以内ということである。このたび、資料 2 にあるとおり、定員いっぱいの 10 名についてご提案を申し上げる。

名簿をご覧いただき、最初に学識経験者ということで、浜田市長会から 1 名、それから浜田地区スポーツ推進委員連絡協議会から 1 名、それから体育関係の団体として浜田市体育協会、それから浜田市野球連盟、島根県サッカー協会からそれぞれ 1 名ずつである。それから地域代表ということで、各地域から 1 名ずつお願いしているところである。

名簿の中の 5 番目の河野正雄さんと 6 番目の村井栄美子さんの 2 名が、このたび新たに就任いただく委員である。その他の方々については、以前から委員を務めておられた方の留任となっている。

具体的には、3 月 7 日に審議会の会議を計画しており、スポーツ施設の再配置整備計画の状況、それから 2030 年に予定されている国民スポーツ大会について、現時点での状況を報告する予定としている。審議会委員の提案についての説明は以上である。

岡田教育長

ただいま、浜田市スポーツ推進審議会委員の選任について説明があった。この件について、ご質問等あればお願いします。

各委員  
岡田教育長

特になし。

では、こちらの案のとおりご承認いただけるということによろしいか。

各委員  
岡田教育長

全会一致で承認

ありがとうございます。

(3) 卒業式におけるマスクの取扱い等について（資料3）

山口課長

2月10日に国から感染症の対処方針が変更され、本年5月8日から5類への移行の方針が出ている。それに伴い、改めて3月13日からのマスクの着用についても一律推奨を求めないかたちで流れている。

対処方針の中で、学校においては3月31日までは現行の感染症対策を継続することで通知が出ており、現在学校においても3月末まではマスクを推奨するというかたちで、通常の感染症対策と併せて学校運営を図る予定である。

とは言いながらも、今、国も卒業式については、マスクを着用しないことを基本として実施をしてほしいという通知が出ている。それを踏まえ、浜田市内の小中学校の卒業式の取扱いについて、本日も確認をしていただきたいと思う。

基本的な考え方として、資料の下段をご覧ください、国の方針に沿ったかたちで、教育委員会として実施をしたいということになる。

具体的に内容を説明させていただきたいと思う。

今回、マスクを着用しないという趣旨は、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒及び教員は、式典全体を通じてマスクを着用せずに出席することを基本とした上で実施するということである。教育委員会としても、卒業式の教育的意義を踏まえて実施したいと考えている。

国の考えとして、1から裏面の7まであり、ポイントを説明する。

基本的な実施の考えであるが、入退場、式辞、祝辞、卒業証書授与、送辞、答辞等、式全体について基本的にマスクを外すという方針である。

また、来賓、保護者の方については、マスクを着用していただくようお願いをする。あくまでもお願いである。

それに伴って、学校には座席間でできるだけ間隔をとるかたちで、参加人数の入場制限はないという基本方針である。

基本は、児童生徒、卒業生、在校生、教員は基本的にはマスクを着用しないかたちで運営を行う。

ただし、本人の意思を尊重するため、マスクを着用したい方には、あくまでも強制するものではないということである。

この強制については、保護者や来賓の方も意思を尊重すべきことだと思いうため、その部分に強制力はないとご理解いただきたい

いと思う。

本日、小中学校については、国の方針に沿ったかたちで同様の内容を学校長宛てに出し、保護者宛には教育委員会名または学校長連名というかたちになるかもしれないが、その文案については今後調整をさせていただく。基本は、国の通知を基本に通知したいと思っているため、このことについて、ご確認をいただきたいと思う。

岡田教育長  
山口課長

裏面についての説明はよろしいか。

裏面についてであるが、6番をご覧ください、1番声を出すのが国歌・校歌等、特に小学校での「呼びかけ」については、マスクを着用していただくかたちになる。やはり、大勢が一斉に声を出す行為になるため、この部分についてはマスク着用等のお願いを学校に行う。

参加者の制限はないとはいえ、有症状の方については、入口で入場を控えていただくようお願いするかたちで運営をしたいと思っている。

今までマスクを着用してきた中で、いきなり外すと言われてもなかなか外せるかどうかというところはあるが、子供たちの意思なり、保護者の意見を尊重して進めていきたいと思っている。

岡田教育長

ただいま事務局から説明があった卒業式におけるマスクの取扱い等について、委員方からご質問等あればお願いします。

倉本委員

これは国の方針に基づいて浜田市で作成しているが、全て国の方針どおりということに理解していいか。

山口課長  
倉本委員

そうである。

感想としてだが、おそらくいろんなことを言われる方が出てくると思う。マスクを外したら外したなりに、いいのかと言われる人も出てくると思うため、国の方針に基づいて、浜田市も全く一緒でこうしますという後ろ盾を作ってあげると、校長先生方は安心されると思う。このかたちでやってもらえればと思う。

岡田教育長  
杉野本委員

他の委員方はいかがか。

資料の3番、式辞等の2つ目の丸の部分であるが、壇上で式辞や祝辞等を述べる際には、マスクを外しても差し支えないとあるが、最近は壇上に上がらないことも多くなって、学校によっては在校生なり保護者の近くで述べることもあると思う。十分な身体的距離が微妙なところだと思うが、おそらく校長先生も壇上に上がらないとすれば、それに合わせればいいのかなという気がす

るが、ちょっと微妙なところだと思う。

岡田教育長 この辺りの十分な身体的距離について、ある程度の数字的なものがあるか。

山口課長 通常の感染症対策として、2メートルが基本となる。小規模校なり、会場が小さい雲雀丘小学校以外は、それ以上は通常空いているというかたちでレイアウトされているため大丈夫であると思われる。

倉本委員 おそらく、基本的な考え方の最初の丸のところに卒業証書授与の場面があつて、それが一番近いと思う。その場面でマスクを外すのであれば、式辞を述べる時も距離を確保されていると考えられると思う。

岡田教育長 卒業証書授与は代表者が受けることがあるが、ただ誰かが出るということであれば、距離的なもので言うと、今の式辞や祝辞よりは近いと思う。

今までの通達も活かしながらということであるため、この十分な身体的距離である大体2メートルを各学校で確保できていれば外すということが前提になると思う。

委員方も主催者として卒業式に行かれて祝辞を述べられるが、その時には学校長と同じ対応にしてもらえたらいいのではないかなと思う。

杉野本委員 事前の控え室辺りで校長先生と相談させてもらえればよいか。

岡田教育長 はい。

その他はよろしいか。

各委員 特になし。

岡田教育長 特にないようであれば、文部科学省の通知に基づいて、浜田市は卒業式のマスクの取扱いを行う。

この件について、倉本委員から意見があつたように、教育委員会としてもきちんと学校に通知を出す。今、保護者宛の文書も考えていて、場合によっては校長と教育委員会の連名で通知をするということ考えており、しっかりその辺りは対応していきたいと思っている。

それでは、卒業式におけるマスクの取扱い等について、承認していただけるということによろしいか。

各委員 全会一致で承認

岡田教育長 では、この対応で進めさせていただきたいと思う。

ありがとうございました。



### 3 部長・課長等報告事項

森脇部長

令和5年度 当初予算説明資料（資料4）

教育部が優先的に取り組む課題については教育方針で説明しているため、教育費全体の説明をさせていただき、次に新規事業を中心に説明をさせていただきたいと思う。

資料4の令和5年度当初予算説明資料をご覧ください、資料の中身に入る前に全体の事業費についてであるが、令和5年度の教育費は3,187,042千円である。昨年度より293,995千円、率で10.2%の増である。

主な中身としては、統合型校務支援システムの整備事業に約4,200万円、小中学校校舎トイレ洋式化事業に約1億4,000万円、美川小学校新築事業に約4,500万円、世界こども美術館創作活動館施設改修事業に約6,500万円の増となっている。

資料205ページの609番、学校ネットワーク管理事業の新規として学校ネットワーク機器更新、電子黒板購入8台ということで、これはネットワークの機器の更新や吊り下げ型、天吊り式のプロジェクターを電子黒板に更新するという事業である。

続いて207ページの617番、統合型校務支援システム整備事業をご覧ください、教員の働き方改革の一環として、慢性的な長時間労働を解消するため、浜田教育事務所管内三市三町で共同して統合型校務支援システムを導入するための経費である。

なお、詳細は257ページに記載があり、後ほどご覧いただければと思う。

続いて208ページの618番、学校施設緊急改修事業をご覧ください、老朽化した学校施設の改修を集中的に行うもので、令和5年度までの事業期間であったが、令和8年度まで延長するものである。

続いて621番の小中学校閉校記念事業をご覧ください、これは閉校式や閉校記念事業及び統合する学校間での交流事業等を行うための経費を計上している。

続いて210ページの626番、学校支援員配置事業をご覧ください、新規として部活動の地域移行に向けた対応経費ということで、部活動指導員のための経費を計上している。

続いて212ページの631番、学力育成総合対策事業をご覧ください、新規として小学校科学教室実施事業ということで、小

学4年生を対象に外部講師による科学実験等を行う科学教室を開催し、理科好きな児童生徒の増加と学力向上を図ることを行う。

続いて215ページの641番、美川小学校新築事業をご覧いただき、これは基本設計、地形測量、地質調査、土地購入等を行うための費用である。詳細は258ページに記載があるため、後ほどご覧いただければと思う。

続いて216ページの644番、中学校教育振興運営費の新規として理科教室設備整備費ということで、老朽化した理科備品の更新や新学習指導要領に対応した理科備品の整備を行うということで、令和5年度から7年度で整備するということが計上している。

続いて217ページの649番、幼稚園管理運営費の新規として登降園管理システム導入経費を計上している。

次のページの651番、幼稚園施設整備事業であるが、浜田幼稚園の安全対策等の環境整備を行うということで、エアコン設置工事、安全対策フェンス設置工事等を考えている。

続いて219ページの656番、図書館管理運営費の新規としては、金城図書館の空調設備更新工事である。それから政策ソフトで、開館10周年記念事業ということで、中央図書館と三隅図書館の経費を挙げている。

その他、子育て・若者世代応援図書資料の整備経費ということで、図書館で選書した「絵本のお楽しみセット」の貸出や、電子書籍の充実を図り、子育て世代や若者世代に読書活動の機会を提供するというものを行う。

続いて222ページの664番、文化財保護事業の新規として旧浜田県庁表門屋根改修工事を挙げている。

続いて224ページの672番、市誌編纂事業の新規として基本計画検討委員会の開催経費を要求している。

その下の673番、地域文化財総合活用推進事業の新規として文化財保存活用地域計画策定支援業務委託料を挙げている。

続いて229ページの689番、学校給食費激変緩和対策事業であるが、先ほど説明したとおり、給食費の値上げ分の2分の1相当額を小学校と中学校それぞれ補助を行う。

続いて230ページの695番、新規事業のスポーツ関係人材確保事業であるが、これは浜田市体育協会事務局の民間移行、部

活動地域移行の受け皿となる地域人材の確保育成のために、地域おこし協力隊員を1名、浜田市体育協会に配置する経費である。詳細については259ページに記載があるため、後ほどご覧いただければと思う。

続いて696番、新規事業のエキスパート指導者招聘事業であるが、これは新聞報道でもあったが、全国的または世界的に選手・指導者等として活用された人材をエキスパート指導者として招聘し、市内小中学生の技術力向上や指導者の育成を図るため、経費を挙げている。詳細については260ページに記載があるため、ご覧いただきたい。

続いて231ページの697番、運動施設管理費の新規としてサン・ビレッジ浜田活用検討業務委託料であるが、金額は載っていないが、主な内容としてここに挙げている。

これは、サン・ビレッジ浜田のアイススケート場としての利用客の増加、それから効率的な運営を検討するとともに、多目的広場などの別の用途に転用した場合などを検討していただいて、どうすべきかということを議論するための委託経費である。

以上が教育部の新規事業を中心とした事業概要である。

ただいま教育部長から説明があった。教育費については10%以上の増額ということで、積極的な予算になっているのではないかと思う。

特に新しい事業や拡充する事業については、今個々に説明をしていただいたが、これまで教育現場でいろいろな課題であったことについての手当を前進させているのではないかというふうに思っている。

まだまだ足りないこともあるかと思うが、教育委員会としての姿勢を示させてもらった予算案ということで、この3月議会に上程する予定である。すでに市議会議員方には、こういった資料がお手元に渡っている。教育委員方にもこのタイミングで、内容について少し共有をさせていただきたいと思い、本日もお配りをした次第である。

今の予算案について、ご質問等あれば願います。

1点、205ページの609番、学校ネットワーク管理事業の中で新規の電子黒板8台であるが、これは小学校、中学校の校種も決まっているのか。

岡田教育長

倉本委員

山口課長	<p>はい。電子黒板は GIGA スクールで全国的に電子黒板と端末を入れているが、ただ先行して学校によっては既にプロジェクターも導入され、独自に入れられている学校もある。最低限、いくら補助事業があっても、全て電子黒板を入れたわけではなく、来年度は 8 台全てを長浜小学校に設置する。要は、新設当時にプロジェクターが入っているが、非常に照度も落ちてきたりして、まず長浜小学校に設置をして、次は国府小学校、旭小学校という順でプロジェクターのある学校に順次 4 年間で、全て電子黒板化する計画である。</p>
倉本委員	<p>ここで言われている電子黒板とは、いわゆる教科書と連動しているものか。</p> <p>例えば英語であれば、英語の教科書はもう入っていて、そこでボタン押すと生徒に自動的に回答させるような、マルバツも付けられるような電子黒板があるが。</p>
山口課長	<p>電子黒板と呼ばれるのは、基本的にパソコン内蔵というかたちになり、タッチパネル等も対応している。</p>
倉本委員	<p>例えば、パソコンの中にソフトを入れておくことで、電子黒板でも使えるということか。</p>
山口課長	<p>はい。使用できる。</p>
岡田教育長	<p>おそらくソフトの関係については、これからデジタル教科書をどうするかという議論も含め、これから考えることになりかと思う。</p>
各委員	<p>その他はよろしいか。</p> <p>特になし。</p>
草刈課長	<p>行事等予定表（資料 5）</p> <p>資料 5 をご覧いただき、教育委員会関係の行事等予定表である。</p> <p>期間としては、右上にあるように 2 月 22 日から 3 月 31 日である。</p> <p>右から 2 番目の列の丸印がついている部分が、委員方に出席をお願いしているものである。3 月 11 日、17 日の中学校、小学校、幼稚園の卒業式である。これは前回出席者の調整をした部分の日程である。それから 3 月 20 日の教育委員会委員と社会教育委員との意見交換会について、前回の定例会で日程調整したもので、同日午後からは、次回 3 月の教育委員会定例会で</p>

岡田教育長  
各委員

ある。意見交換会、定例会ともにこちらの本庁4階講堂になるが、昼食は教育委員室に用意する予定である。

それから一番下、3月31日は辞令交付式に出席をお願いしている。

行事等予定表については以上である。

ただいまの予定表について、ご質問等あれば願います。

特になし。

山口課長

HAMADA 教育魅力化フェスタ 2023 開催報告（資料6）

HAMADA 教育魅力化フェスタ 2023 を開催した。委員方にもご出席いただき、ありがとうございます。午後からの開催であったが、約200人の方に来場いただいて賑わいを見せたところである。

実際、初めてのイベントであったが、時間配分等、資料裏面に課題等も記載している。非常によかったという意見の反面、会場を1ヶ所で、同じ会場でトークフォークダンスをした関係もあり、別室でやるとか時間のコントロール、来場した人がストレスなくスムーズにイベントを楽しめる時間割にはちょっとならなかったかなというご意見もいただいている。

今回、中学生をベースに周知したが、ごきょうだいがいる小学生が1日会場に居たり、非常に思ってもいない効果もあったかなと思っている。

この部分は実際、今回のターゲットが中学1、2年生だったが、きちっとターゲットを決めて時期等を検討しながら来年度実施する予定であるため、検討を進める段階でまた情報提供しながらご意見をいただいて、いい感じで進めたいと思っている。

山口課長

浜田高等学校自然科学部による市長表敬訪問（資料7）

続いて資料7をご覧ください、浜田高等学校自然科学部による市長表敬訪問である。

冒頭、教育長が言われたように、自然科学部が朝日新聞社主催のコンテストに参加し、花王賞を受賞して、今年5月にアメリカで発表するという事で表敬を行った。

3名の方がこの「植物乳液の防虫効果と利用法」という研究テーマで取り組まれているが、実際メインで行くのは今年2年生

のお二人であると聞いている。坂手さんも行かれるようなことを聞いているが、今発表に向けて頑張っておられる。こういった取り組みがどんどん進めばいいと思っている。

本日の資料にはないが、情報提供だけさせていただく。

今、島根大学と島根県教育委員会が、教員養成に向けてということもあるが、包括連携をされている。

その中で、教師の育成という観点で、令和3年度から教師塾というのをされており、拠点校を決めて、その中に浜田高校もあるが、浜田高校も、浜田高校教師塾というかたちで夏季休業やオンラインを使いながら、島根大学教育学部の方達と情報交換とか体験、ワークショップをしながら取組を進めている。

その一環で、今度3月7日、8日に県立高校の一般入試があるが、その二日間は高校の授業がない関係で、2日間ではあるが、小学校で短期の教育実習をしたいという学校からの申し出があり、調整をしている。今9名の高校生から母校であったり近くにある学校というかたちで希望があるため、実施に向けて調整しているところである。

こういったかたちで、あと数年後、地元で教員になっていただけるような取組にも教育委員会が関わっていることを紹介させていただいた。

以上である。

ただいま3点の説明があったが、これに関係してご質問等あればお願いします。

中学三年の親御さんが周りにいらっしゃるので聞いてみたところ、浜田高校の理数科の倍率が上がったのは、こういう目に見えやすいような賞を取られたことが大きいのかなというふうに言われている。やっぱり子どもたちにとっても、インパクトの大きい出来事だったのかなというふうに思うので、ぜひ今後もいろんなことにチャレンジをさせてあげて欲しいし、ぜひこういうことを大々的に言ってあげると、進路選択を考える時の一つの要素になるのかなというふうに思う。

私は、個人的には理数系のことで賞を取られたことがすごく嬉しいことかなと思う。それを目掛けて小学校の科学教室も始まると思うので、そういうことと結びつけてあげたり情報提供してあげたりすると、一連の流れができるのかなというふうに思っている。また今後も楽しみだなと感じている。

岡田教育長

岡山委員

岡田教育長

ありがとうございます。

やはり高校で今どんなことをしているのかとか、どんな活躍をしているのかというのがわかるように、見えるようにしてあげることで、随分刺激になるのではないかと思っている。それこそまさに教育魅力化フェスタの取組の一つでもあるため、この事業を継続して力を入れてやっていきたいと思っている。

ありがとうございました。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

鳥居室長

第10回(2月)市校長会資料(資料8)

資料8をご覧いただき、校長会でお示ししている3点についてである。

1つ目が、来年度の授業改善プランについて、変更した点、追加した点の概要である。

2つ目が、情報活用能力チェックリストを活用して、来年度に向かってくださいということである。

それから最後に、学校図書館活用教育を推進するために校内で組織を作って検討していただきたいとお願いをしている。

まず1ページ目の1番、令和5年度子ども声でつくる授業についてということで、既に作成したものをフォルダの中に入れている。併せて、今日の資料には載せてないが、解説編もフォルダの中に入れているため、参考にしていただきたいとお伝えしている。というのも、3月に入ると来年度の校内研究と校内の授業改善プランを作成していくことになるため、これに先立って教育委員会の考え方をお示したところである。

簡単ではあるが、説明をさせていただく。

中段の(1)、まず令和4年度の取組を総括している。重点として取り組んでいた2点についてであるが、まず学習の見通しを立て振り返る営みについてはだいぶ定着してきているが、時間を費やす傾向が認められる。したがって、問いを生み出すことや問いを連続させるための仕掛けが必要である。無理やり子どもの言葉を引き出そうとして悪戦苦闘しているようだが、そのために時間を要したいということがシンプルにできないか、そのためには仕掛けが必要ということである。

それから振り返りについては形式化しつつあるのではない

かと懸念している。

また、振り返りの時間がなくなって、不十分になるという傾向がただ見られる。限られた授業時間を有効に活用するための教師の指示や説明の在り方について、もう少し考えていかなければならないと思っている。

考えを深め、広げる営みについては広がりつつあるが、ただ、個人やグループの解決の披露に終わり、そこからの深まりが今一つ必要であると課題として挙げている。

もう1つは、教師が、子どもが発表した内容を説明し、評価してしまう場面も多々認められる。本来は子どもがやるべきことを教師が取ってしまう。不必要な説明もあつたりするため、子どもが比較検討をしながら話し合いを進められるような教師のコーディネートが必要である。

それから仮説検証型の授業研究であるが、おそらくこういったやり方をしているのは県内でも浜田市ぐらいではないかと思うが、これが広まってきている。より子どもの学びの実態に応じて、そこから学ぶ授業研究をお願いしている。重点項目ではないが、成果としてお示ししている。

2 ページ目から先ほどの振り返りに基づいて、変更した点を挙げている。1 番上の四角囲いのところで、①から⑦まで挙げているが、③子ども自身が問を見いだしたり問いを連続させたりしていくための工夫。それから④、⑤、この辺りがポイントになるが、主には③、④について新たに追加しており、若干の解説も加えている。それに伴って、少し文言を挿入したり修正したりしたものが、そのあとに続いている。これを読んでいくと非常に長くなるため、省略をさせていただく。

資料 A として、8 ページにわたるものが本編として付けているため、またご覧いただければと思う。3 月末までのところでパワーポイントで説明をし、それに言葉を添えたものを各学校で使えるようにしていきたいと思っている。

続いて情報活用能力チェックリストについて、前回の定例会で紹介させていただいているが、このたび完成した。それぞれのシートの真ん中辺りに、1 番から数字が打ってあるが、四角囲いでチェックボックスが付けてある。小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学校用で作ってあり、それぞれの指導を担当している先生方が子どもの様子を見ながらチェックをして、



自分を振り返る。

それから、来年度の指導に活かしていくために活用してくださいとお願いをしている。集計をしようかと思ったが、今年度は自分自身で振り返りをさせていただき、徐々にデータを取って進捗状況を管理していきたいと思っている。

3番目の浜田市における学校図書館教育について、資料Bをご覧ください、各学校における図書館活用教育の取組に少し差があるという実態がある。

それから、その中に若い人たちが増えてきており、これまで浜田市が積み上げてきたノウハウがだんだん薄れてきている状況もあり、各学校に振り返りをさせていただきたいということで、学校図書館運営委員会等の設置、開催についてをお願いをしている。

名称は学校図書館運営委員会という名称でなくても構わないので、図書館活用教育に関わる人たちで、自分の学校の取組、それから浜田市と全国のデータとを比較していただき、取組状況について考えていただきたい。それから図書館活用教育にもICTが入ってきているため、その辺りについても協議をしていただき、来年度に向かって取組をしてくださいとお願いをしている。

学校評価等で図書館活用教育について評価をしている学校もある。子どものデータを取るとか、保護者のデータを分析する。そういった学校については、学校評価も活かしながらお願いをしているところである。

私からは以上である。

ただいまの報告について、委員方からご質問等あればお願いする。

ご紹介のあった情報活用能力のチェックリストについて、それぞれの表の中の下段にある情報モラル・情報セキュリティについてであるが、今、石見智翠館高等学校が盗撮の件で非常に大問題になっているが、そもそもこういう力が付いていたならば、そういう事態にはならなかったのではないかと思う。チェックリストが小学校低学年から表になっているが、どれだけうるさいなと思われても、やっぱり逐一ずっと言い続ける必要があると思っている。実際に被害に遭って傷付いた方にとっては、一生心の傷になったり、盗撮云々もあるが、誹謗中傷が二

岡田教育長

岡山委員

次被害のところで起きているという現状がある。

やっぱりこれは、これからの生きていく力に繋がっていると非常に感じたため、是非このチェックリストを使っていただいて、今回は集計がされなかったということだが、それが満遍なく本当にできているのか、ここが本当に守れるような力が付いているのかがわかるようになると本当に良いと思うため、是非どんどん活用していただきたいと思う。

鳥居室長

情報活用能力であるが、先ほど説明した情報モラルやセキュリティ、特に情報モラルについては道徳でも扱う。人を傷つけるとかいうようなところは情報モラルに特化するわけではないが。それから社会科の中でも、情報モラルについては出てくる。教科を通しながらやっていくということと、学級活動でやっていくということ、それから各学校でメディア接触に関して、いろいろな取組をしておられる。授業公開日に、この情報モラルについて授業公開している学校もかなり出てきており、PTA あるいは子どもを対象に講師を招いた講演会での啓発、学習というようなことをしているところもあるため、そのあたりを大切にしてもらいながらやっていければいいかなと思っている。

岡田教育長

今回、人権尊重のまちづくり推進大会でも、ネットによる誹謗中傷のことで、本当にしんどい思いをされたタレントさんからの生の声を聞かせていただいたが、人権問題にも関わってくる上に、いじめや問題行動などの報告を見ても、今は見えないところで SNS を使ったり、ネットを使ったりということも出てきている。これはやはり、あの手この手でやっていく必要があるのではないかなと思っている。ありがとうございました。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

#### 4 その他

##### (1) その他

岡田教育長

事務局からその他何かあるか。

日ノ原係長

特になし。

岡田教育長

その他のところで、委員方からご報告やご質問があればお願いする。

各委員

特になし。

次回定例会日程

定例会 3月20日(月) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 4月28日(金) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

14:30 終了